

10月22日(水)9時30分、はならあとインフォメーション会場の阿伽陀屋若林亭において、6人の出展作家と弊保存会役員が集合してはならあと開会式を実施しました。この日は、雨は降りませんでしたが、日中も気温が上がり、寒い幕開けとなりました。

しかし、23日(木)24日(金)の両日は、秋晴れの好天に恵まれ、各会場への来場者も大幅に増加しました。折しも奈良県立大学の学生達が講義の一環として、はならあと会場を巡回してレポートを書いたり、奈良芸術短期大学の学生達が今井町を写生したりして、一般の来場者と交流してとても賑やかな日々でした。

25日(土)、26日(日)は春日神社の秋の例大祭や奈良県立医科大学の大学祭「白樺生祭(かしふさい)」と重なり、各行事の

10月22日(水)9時30分、はならあとインフォメーション会場の阿伽陀屋若林亭において、6人の出展作家と弊保存会役員が集合してはならあと開会式を実施しました。この日は、雨は降りませんでしたが、日中も気温が上がり、寒い幕開けとなりました。

しかし、23日(木)24日(金)の両日は、秋晴れの好天に恵まれ、各会場への来場者も大幅に増加しました。折しも奈良県立大学の学生達が講義の一環として、はならあと会場を巡回してレポートを書いたり、奈良芸術短期大学の学生達が今井町を写生したりして、一般の来場者と交流してとても賑やかな日々でした。

25日(土)、26日(日)は春日神社の秋の例大祭や奈良県立医科大学の大学祭「白樺生祭(かしふさい)」と重なり、各行事の

変化の大きい天候の中

2025はならあと権原今井

5日間開催



発行会 今井町町並み保存会
発行日 令和7年12月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
△ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

相乗効果により、来場者の大幅増加が期待されました。



↑旧北町生活広場
中町筋生活広場↓



↑重文旧米谷家
景観支援センター↓



↑インフォメーション
阿伽陀屋若林亭↓



今井町兵部町秋祭り 大盛況のビンゴ大会

10月25日(土)、春日神社の宵宮祭は、午前の神事に続き、午後からダンジリの宮出し、町内曳行。夜は境内に屋台が出店し、演芸大会が催され、賑やかなお祭りの雰囲気が醸し出されました。

祭りの応援にかけつけた高田商業高校の学生達が司会するビンゴ大会は、大いに盛り上がり、「レッツ!!ビンゴ!!」の掛け声が夜遅くまで境内に響き渡り、祭りは最高潮に達しました。



↑NIJIRI



まちや館↓

第48回全国町並み保存連盟 初めての海外ゼミ・台北大会に参加

性に優れていきました。

大会初日 10月31日(金)

10月31日(金)～11月2日(日)3日間にわたり台湾の台北市で開催されました。なぜ全国町並みゼミが台湾で開催されることになつたのか?理由は、まず第一に、台湾で町並み保存に関する活動を続けている台湾歴史資源経理学会秘書長の丘如華さんが、第15回の全国ゼミからずっと毎回大勢の学生達を連れて参加し、日本と長く幅広い交流を続けています。次に、

全国町並み保存連盟の西村幸夫先生が台北市政府の顧問に就任されたこと。そして、台湾以外の東南アジアの国々マレーシア、インドネシア、タイ、マカオから全国ゼミへの参加が増えてきて連盟のグローバル化が進んだことが考えられます。

関空から台北へ

弊保存会では、中西会長他4人が開会式に間に合うよう前日の10月30日(木)早朝に今井を出発し、関西空港の第2ターミナルからLCC(格安航空会社)ピーチアビエーションに搭乗して、約3時間半で台北桃園国際空港に到着し、市内へはMRT(地下鉄)空港線で台北駅まで普通車で50分(直通車なら35分)で到着しました。台北駅は広大な駅ですが、宿泊先のビジネスホテルまでは歩いて10分もかかる場所にあり、滞在中の移動拠点としてとても利便

開会式は、台北駅の東方の華山1914文創産業園区という、1914年日本統治時代に日本酒醸造所を建設してから、樟脑工場や葡萄酒工場などが建設された場所にある西一館で開催。座席(パイプ椅子)は、300脚以上が満席になり、日本からの参加者は134人に達しました。



大会第1日目のプログラムは次の通り

10時～開会式・大会趣旨説明・来賓挨拶
10時半～11時半 基調講演「世界遺産－
ジヨグジャカルタ特別州における文化生態
保存の取り組み」

13時半～14時半「台北からの報告」丘如
華女士

11月9日(日)13～18時、順明寺境内で、奈良県立医科大学と弊保存会共催の第10回「KIMONO JAZZGLE」が開催。土・月曜日の好天の合間で、運悪く悪天候の中、テント数を増やして対応しました。

今井町着物でJAZZ開催

出演者の熱情溢れる演奏と聴衆がテントから飛び出して音楽を全身で受け止め、会場が一体感に包まれる盛り上がりで、雨にも負けず盛会裡に終了しました。



のあり方①観光と文化保存に生じる葛藤

②歴史的建造物の活用と連携③産業遺産の再生と現代的活用④住民の安定した暮らしと地域の合意形成など多岐にわたり議論を深めて、アジア各地からの参加者とともに台北が抱える課題を見つめなおすことで、台北市がアジアにおける重要な「都市共学の拠点」として新たな一步を踏み出すことを目指し合いました。

14時半～17時半 10人が各地からの報告(次月号以降掲載予定)

雨にも負けず